

持続可能なコミュニティ自治の構築に向けた取組事項

この取組事項は、「持続可能なコミュニティ自治の構築」の実現に向け、『行政とコミュニティ活動のあり方検討委員会』からの提言に基づく平成26年度までの取組状況の検証・評価や、社会情勢や地域を取り巻く現状等を踏まえ、今後、中長期的に取り組むべきものを示したものである。

1 市民の自助・共助意識の醸成

地域コミュニティの根幹となる相互扶助に基づいた活動や地域での相互関係を尊重する意識の醸成を図る。

2 コミュニティの基盤組織の強化

コミュニティの活動を担う基盤組織を強化するため、現在の町内会等への加入を促進するとともに、その他の組織のあり方について検討する。

3 コミュニティの活動を担う人材の発掘・育成

各分野で活躍している人や地域活動に関心がある人など、地域内に潜在している人材をコミュニティの活動に繋げるとともに、各種養成講座の開催などを通して、リーダーのレベルアップを図る。

4 街灯の設置及び維持管理

街灯の適正配置及び維持管理に係る不公平の解消を図る。

5 コミュニティプランの改訂

地域の実情や市民のニーズに応じた活動を展開するため、定期的に見直し、必要に応じて改訂する。

6 活動拠点施設の活用促進（交流センター、集会所等）

コミュニティの活動拠点や市民の集会施設を多くの人に利活用してもらうための方策を検討する。